

第2回 令和2年度使用教科用図書加古川採択地区選定委員会 議事録

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- ・教科書展示会について

4 協議

(1) 令和2年度使用小学校教科用図書の選定について

会 長：二市二町合同での調査員会班長からの報告と事前に事務局から送付されました展示会での来場者アンケート等を参考に、協議をお願いいたします。皆様から、各出版社ごとに付された意見をまとめ、選定委員会報告書を作成することとなっております。ですので、各出版社ごとにご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

(異議なし)

会 長：選定委員会としては、それぞれの立場からの意見をしっかりと伝えることが大切であると思っておりますので、協議の中で、積極的に発言いただくとともに、「この教科書がふさわしい」という意思表示、発言もよろしくをお願いいたします。調査員会からの報告の順に協議をお願いします。

①社会科教科用図書の選定について

会 長：まず、東京書籍についていかがでしょうか。

委 員：鎌倉幕府1192年だったのが、最近では1185年とか、仁徳天皇陵とかもそうですけども、記述が少しずつ違ってきています。それと同じように、太政官布告についても、今までは解放令として教科書には記述が出てきてきましたが、最近の研究では、太政官布告は太政官布告で、解放令ではなかったというのが一般的な受け止め方になっています。それを見ると、東京書籍は、「1871年の法令によって、身分上は解放されました」となっていて、解放令という記述はありません。その他の2つの教科書には解放令という記述があります。東京書籍の研究は、最新のものが盛り込まれているのではないかなと思います。解放令でなかった為に、その後、新しい形で残されましたという記述ですので、これが正しいのではないかなと、私は読み進める中で思いました。後の記述は、3教科書とも同じようではないかなと思いました。

会 長：委員の皆さん方、どうでしたか。何かこういう特徴がありましたということ
とで教えていただければ、有難いですけど。

委 員：部落差別のことにに関して、それぞれ3社とも、特に担ってきた光の部分と
いうのは、何らかの形で取り上げられていたと思うんです。ただ、比較す
る中で渋染一揆だけが、文教では一切取りあげられていなかったなという
印象がありました。これから6年生で学び、中学校に行く時に、どうなん
だろかという思いは持ちました。

委 員：渋染一揆、大事なところですので。それから、同じ東京書籍で言えば、解
体新書における記述が詳しかったように思います。厳しく差別されてきた
人々が、優れた解剖の技術をいかして、このころの解剖の技術を支えてい
ましたというふうに、しっかりと書いてあったように思います。

会 長：他にご意見はございませんか。

委 員：社会科は地域を、加古川では「私たちのまち加古川」という副読本を作っ
て、地域学習を多く取り入れてきてますね。各地区のそれぞれの地域の特
徴から、自分の地域に照らし合わせて行う学習も当然大切なことです。身
近なもの、親近感を感じるということで、兵庫県に関してとりあげている
内容というところに着目してみたら、東京書籍の場合は、明石、兵庫県地
図を取りあげています。それと、5年では、姫路、城崎、阪神大震災、そ
れから貨物列車の写真、6年では、一ノ谷の戦い等を取りあげているなど、
かなり身近な部分があって、親近感を感じたなと思います。学習への興味
付けをしやすいかなと思いました。

委 員：内容のことではないんですけども、特にこの頃教科書が太く、ページ数も
多くなってきているので、東京書籍以外は太い教科書になっているんです
が、東京書籍は5、6年の教科書が上下に分かれておりました。6年では
公民と歴史と、分かれた内容になっており、使いやすいと思いました。3、
4年についても、コンパクトに内容がまとまっているということですので、
子ども達には使いやすいと思いました。

会 長：他にいかがでしょうか。

東京書籍については、その辺りでよろしいですか。

会 長：続いて、教育出版について、いかがでしょうか。

委 員：教育出版は、全体的にグラフとか図表が多かったイメージがありました。
読解力を育てるという面から言えば、図やグラフが多い方がいいのかなと
思いました。それと、はっきりと自動車の安全性のことについて言及して
います。様々な車が出てきましたので、ユニバーサルデザインにも配慮さ
れているのかなと思いました。それと、海運についての記述が教育出版と
東京書籍にはありましたが、日本文教にはなかったと思います。

会 長：皆さん方、どうでしたか。

委 員：教育出版には、新学習指導要領の目標にある社会科の見方・考え方というのが別枠、1ページを割いて明示してありました。それは、子ども達にとっては難しいかもしれませんが、教える教師にとっては、こういう点を意識しないといけないということが、すごくはっきりわかるのではないかなと思いました。それと、3年から社会科がスタートするのですが、3年の子ども達が、校区を巡って校区地図を作り上げていくという学習のプロセスが非常に丁寧に扱ってあるとの印象を受けました。

委 員：それに関連して、補助犬マーク、多目的トイレ、障がい者駐車スペース、店員が車椅子を押している写真、多様性に配慮した記述がたくさんありました。

会 長：他にお気付きになったことはありませんか。

委 員：教育出版の6年の社会は1冊になっているんです。5年もそうなんですけど。6年のは、かなり重かったですね。あまりにも重いので、量ってみますと550gありましたね。1年間、社会は週3時間あるのですが、すごく重いなと思いました。

会 長：展示会のアンケートでも、教科書の重さについては、懸念するような意見が出ていたと思うので、ポイントの1つかなと思います。

委 員：フルサイズの少し背を低くして、小さくしている学年があったりするんですけど、教科書会社からすると大きい方がたくさんの情報が載せられるので、そうしたくなるんだと思うんですけど。やはり、精選してベースもできるだけ少なくする、そういう観点も必要かなと思います。

会 長：教育出版について、他にご意見ございませんか。よろしいでしょうか。

会 長：最後に、日本文教について、いかがでしょうか。

委 員：3年の最初が姫路市が取り上げられていたと思うんです。この辺りにとっては、身近に感じられるのかなと思いました。それはすごくよい面だなと思いつつ、見ていきますと、取りあげられた所が、駅を中心の市街地よりも商店街を中心とした地域になっていたのが、加古川市もそういう地域もあるんだけど、山側の地域にとっては違和感があるんじゃないかなと感じました。

会 長：他、どうでしょう。

委 員：日本文教が、夜間中学を取りあげていたのと、水俣病を取りあげて、水俣市の取組を取りあげていました。それと、広島豪雨からの発展も言及してありました。そういうところが新しいかなと思いました。

委 員：金閣寺と銀閣寺を見開きで絵で比較できるということで、子ども達が学習しやすい資料を使っていると思って見せていただきました。

委員：報告書に記載されていますが、私も QR コードが少ないと感じました。これからは、ICT の活用もあるので、ここに一つ、特に保護者の関心とかがあると思います。

会長：他に、いかがでしょうか。

会長：報告にもありましたが、日文だけがアイヌの記述がなかったですかね。

会長：社会に関して、他にご意見がございませんか。

推薦の意思是、他にございませんか。

会長：次に、移らせていただきます。地図です。

②地図教科用図書の選定について

会長：まず、東京書籍についていかがでしょうか。

委員：東書の地図は、帝国書院の地図に比べて、イラストという感じの所が多く、地図として活用するに関しては、帝国書院の地図が見やすく、授業に使いやすかったです。ただ、阪神淡路大震災について、取りあげており、良いところだと思います。

委員：使用しやすさという観点から言うと、帝国の方が見やすかったかなと。

委員：地図は、2社が出されているので、非常に比較がしやすかったですね。やはり、私も見ながら一番に気付いたのは、関西をクローズアップした中で加古川の取り扱いをどのようにしているのかなと見ますと、帝国書院は鶴林寺、平荘第1ダム、権現ダムが入っており、子ども達にとって魅力かなと思いました。見やすさというと帝国書院の方が見やすい気がしました。また、世界地図が付いており、文化とか主要な国については、下に国旗とかあいさつの言葉も外国語で書いてあって、外国語活動とか外国語科との関連性がすごく意識されているなと思いました。帝国書院も東京書籍も ICT 機器を使ったという部分では随分と工夫されているのではないかなと思います。子ども達が3年生から6年生まで4年間使うということを見通した場合には、社会科でも、外国語活動でもいろいろな幅を見た場合は、帝国書院が幅広く、いろいろな教科との連携ができるのではないかなと感じました。

会長：会社2つ出てきているんですけども、帝国書院についてもお話ししていただければと思うんですけど。いかがですか。

会長：地図に関して、他にご意見はございませんか。

委員：調査報告書にも述べられていたと思うんですけど、帝国書院の方がキャラクターが地図へのマスターへの道ということで、いろんな質問を出しているんですね。その質問が、開いたページのどこかに答があって、見つけるという作業が子ども達にとって楽しんじやないかなと思いました。まさし

く、子ども達が主体的に動けるしかけがあると思いましたが。ただ、都道府県のいろいろな生産量や額を一覧にしたページがあるんですが、そこは東書の方が見やすいですね。数字が大きくて、見やすかったように思います。

会 長：他にご意見ございませんか。では、推薦の意思はございませんか。よろしいですか。次は、理科に移らせていただきます。

③理科教科用図書の選定について

会 長：まず、東京書籍についていかがでしょうか。

委 員：印象なんですけども、東京書籍の理科の教科書を見ると、ものすごくいろいろな情報が入っていて、とても詳しいなという印象があるのですが、逆に教科書として使用するとなると、やはり注目させるとか、あるいは基本的なところをきちっと学習させるというような時には、いろいろな情報がありすぎると難しい時もあるのかなと思いました。ただ、写真とかも目を引くものもありますし、本当に子ども達が興味を引くようなつくりになっておりましたが、印象としてそのように思いました。

委 員：理科は学習課題があって、予想を立てますね。予想を立てて実験をして、実験の結果を出して、それから記入して、次の新しい疑問へつなぐというような一連の流れがあると思うんですけど。そういうものはきちんと、東書の場合はわかりやすくなっていたと思います。

委 員：東書は、障がい者に配慮した写真などがけっこう多かったという感じがします。例えば、4年生の「体の動きと運動」でしたけれども、パラリンピックの写真や義足の高桑選手の話に掲載したり、クラスでの話し合いに、肌の色の違う女の子を載せていたりして、肌の色は1種類ではないと感じさせる1ページになっていたと思います。最近では肌色と言わずに、ペールオレンジという色があるように、そういう配慮ができていたかなと思いました。

委 員：6年の水溶液では、酸性、中性、アルカリ性の記述が詳細だったなと思いました。

会 長：東京書籍について、皆さんどのような意見をお持ちでしょう。他にございませんか。

委 員：東京書籍が一番大判になってたんですね。私自身は見やすさを感じました。今、他の委員もおっしゃったように、情報量が多くて、巻末に理科に関連した資料がついていたように思います。その辺りが、上手く使えるか、教師として一抹の不安がありますね。科学が好きな子、理科が好きな子を育てるには、そういう資料は効果があるのではないかと思います。

会 長：東京書籍について、他にご意見ございませんか。

- 会長：続いて、大日本図書については、いかがでしょうか。
- 委員：調査報告にもありましたけれど、子どもたちの実際の生活と違う時期の単元構成になっています。3年の5月頃の昆虫の学習や、5年の天気の変化の学習などといった例を挙げられていましたが、やはり理科の学習で、その季節に合わないことを教えるというのは、体験と学習をつなぐという意味では教科書として使いにくいのかなと思います。
- 委員：多様性に配慮した写真や記述がたくさんありました。また、6年の窒素・酸素・二酸化炭素のボンベや気体検知器の写真が大きくて、子どもたちが分かりやすいのかなと思いました。他にも、3年生でネオジウム磁石を取り上げていたのはこの教科書だけだったように思います。今、一番注目されている地層であるチバニアンも取り上げていて、新しいものだなと思いました。
- 委員：言語活動という意味では、単元の終わりに、大事な言葉を振り返る、まとめるというコーナーがあるのですが、それ以外でも、学んだことを生かし、自然界にあるものとの関連づけを行うために、これはどうしてなんだろうと記述させる工夫がありました。学んだことを実際に説明できる子どもたちを育みたいという意識だろうと思いました。他の教科書にはそういうまとめ方がないので、この本の良い面かなと思いました。
- 委員：知識偏重で、覚えさせようという意図が強いというわけではないと思うのですが、この会社は知識をたくさん載せたいという意図を感じました。興味関心をもたせて、理科好きの子どもたちを育てたいという思いはあるのでしょうか、基本的な知識をたくさんもたせたいという意図も感じました。
- 会長：他に意見はありませんか。
- 会長：続いて、学校図書についていかがでしょうか。
- 委員：教科書のページの左側に学びのつながりを示す線が明示されていました。視覚的に子どもたちも教師も、こういう実験をすればよいということが、分かりやすいなと思いました。ただ、全体的に見づらさを感じました。それから、領域ごとに色を変えて見やすくしているのはよいのですが、果たして、子どもたちはそこまで意識していくのかなと思いました。教師のための色分けかもしれませんが、あまり意図が分からなかったです。
- 委員：4年の教科書で、年間を通した桜の木の観察があって、これは良い試みだなと思いました。ぜひ、やってほしい取組だと思いました。
- 委員：いろいろな文字の大きさが、同じページに入り交じっていると、大人から見て、見にくいですね。確かに、小さい字にすれば情報がたくさん入るのですけれども。子どもたちが楽しいなと思って見られるような教科書が一番だと思うんです。そういう面では、少し弱いかनाと思いました。

- 会長：学校図書について、他のご意見はございますか。
- 会長：無いようでしたら、続いて、教育出版について、いかがでしょうか。
- 委員：この教科書は、キャラクターがアトムでしたね。非常に人気のあるアトムを使っているんだなと思いました。子どもたちにとっては、インパクトがあるだろうと思いました。また、途中で人体図を大きくした付録が入れてありました。自分の体が等身大のようになっており、これはおもしろいなと感じましたね。
- 委員：今までは前から見た人体図だけだったんですが、後ろから見た図も併せて載っていたので、私もインパクトが強いなと思って、見ました。
- 委員：地震の起こるメカニズムにおいて、プレート載せていたのはこの教科書だけでしたね。プレートがずれてという記述があり、新しい取組なのか、子どもにとっては難しいのか、よく分からないのですが、特色を出しているのかなと思いました。
- 委員：いろいろな情報が入っていますが、総ページ数が、どの学年も1番くらいになっていました。たくさん情報が入っているのですけれど、多すぎる情報というのは、いろいろな子どもたちがいる中で、一斉授業をするとなると、使いにくいことがあるかなと思います。
- 委員：40 単元、総ページ数 236 ページ。これはやっぱり、多いですね。
- 委員：量が多いので、見ていて、見づらい面がありましたね。すごく好きな子どもたちにとっては良いけれど、読むことが苦手な子には、多分、そこまで入っていかないのかなと、そんな懸念はありますね。
- 委員：言葉は、キャラクターが話しかける形なので、言語活動という面では大変良いかなと思いましたけれど、情報が多かったですね。
- 委員：この会社は、巻末に付録が付いていなかったと思います。それだけいろいろなことを教えたいという思いが詰まっているんだろうと思いました。
- 会長：最後に、啓林館についていかがでしょうか。
- 委員：5年の単元の配置が、他と違っていたように思います。「天気」を2学期にもってきてたと思うんです。他は1学期に入ってたんです。台風発生の比率から2学期に配置しているのかなと思いました。なぜ流し方がちがうのだろうと感じました。その方が、子どもたちが理解しやすいのですかね？
- 委員：そういう意図があるんでしょうね、多分。
- 委員：そうですね。
- 委員：天気図なんかも非常にわかりやすいですね、台風のところが。
- 委員：ユニバーサルデザインに配慮してあり、いろんな文字が無いというのは、子どもたちにとって見やすい教科書になっていると思います。
- 委員：私は一番、この教科書が見やすかったですね。理科の思考の流れといいま

すか、それが一番わかりやすかったです。

委員：そうですね、私も一番見やすかったですね、この教科書が。

委員：インターネットへの接続、QRコードというのが、教科書の所々に出てきましたね。

委員：それと、多様性への配慮と言うのも、4年ぐらいからきちんと書かれていたと思うんです。それと、マイクロプラスチックのことも啓林館だけが取り上げていたと思うんですけれども。子どもへの問題提起もできるのかなと思いました。何よりも、表がパッと見てわかりやすく入ってくるなと思いました。

会長：他に、啓林館について、ございませんか。

委員：教科書は、どんな家庭環境の、どんな立場の子どもも使えて学べるものが理想だと思います。家庭でなく学校の理科の授業で、QRコードが十分活用できるよう、タブレット配置など、そういう教育環境面での整備が、加古川市として課題かなと感じました。

会長：理科に関して、ほかにご意見はないですか。

④生活科教科用図書の選定について

会長：生活科の報告書を見ていて、わからない言葉ばかりでパソコンで調べました。ウェビング、Xチャート、Yチャート、KJ法、Dマークなどが出てきました。順番に、東京書籍についてどう思われましたでしょうか。ご意見をお願いします。

委員：巻末の「かつどうべんりてちょう」、これは授業でも活用しやすいなと思いました。子どもたちにとって、「ぼけつとずかん」という原寸大の別の資料があって、大変興味をひくだろうなと思います。

委員：生活科は、理科と社会に入る前段階の教科ですが、やはり体験活動が中心だと思うんです。教科書を読んで知識を習得するだけの教科書ではないと思うので、そういう意味でも、この東書は活動を中心とした記述がなされていて、大変わかりやすかった。子どもたちは、ずっと教科書に入っていけるというか、自分たちの日常の活動に転移ができるという、そういう視点でわかりやすかったです。

委員：今回の指導要領の特徴だと思うんですが、教科書にもそういうところがたくさん出てきて、「挨拶をしよう」、「自分の気持ちを伝えよう」、「ありがとうの気持ちを伝えよう」など、各教科の中で自己肯定感が高まるような言い回しがものすごく多く、特に、東京書籍の2年下の「ありがとうの気持ちを伝えよう」、1年「挨拶をしよう」、「気持ちを伝えよう」というページなど、好感がもてました。多様性への配慮も、十分されていたように思い

ます。

委員：私たちの小さい頃は、車いすの人というのは特別な存在だった。あまり街で見かけなかった。しかし、今の子どもたちはそうではなくて、たくさんの人たちが街に出かけられて、そういう様子も描かれており、配慮されていたと思います。

会長：先ほどの自己肯定感のところでもう一つ「すごいねカード」というのがついていましたと思います。東京書籍について、ほかにご意見はございませんか。

会長：では、大日本図書についていかがでしょう。

委員：報告にもありましたが、子どもたちの見本になるようなワークシートが、やはりちょっと見にくい。それをお手本にして書くというような活動の時には、使いにくいかなと思いました。

委員：ワークシートにまとめる時に、1年生、2年生というのは語彙が少ないからだろうと思うのですが、本の右端にいくつかの言葉の例が示してありました。私は、好感を持って見たのですが、果たして1、2年にあれだけの言葉を教えた方がよいのか、その辺は疑問に思いました。でも、語彙を増やして、こういう言葉を使ったら表現できるよと、意図的にしているのだろうと思いました。そのような例を挙げているのは、この大日本だけでした。報告にもありましたように、最初さわったときにびっくりしましたね、凹凸がありましたので。植物の生長、種から観察していくんですけど、教科書をうまくずらすと絵でずっとつながっていく、ほかの会社にもありましたけど、工夫されていると思いました。巻末に「学習どうぐばこ」というページがあるんですけど、非常に字が小さくて、低学年の子たちには読みづらいかなという思いがしました。報告にもあるんですけど、下巻の最後に透明シートがついていました。はじめ何をするのか意図がわからなかった。意図がはっきりしないものを置いておくと、子ども達がいろいろな使い方をして、それも勉強かもしれないけれど、そこばかり気にかけてしまって授業に集中できないかと思いました。

委員：教科書を見て、生活科らしくないなと感じてしまいました。教科書をずっと勉強していけば、生活科ができると勘違いしてしまうのではないかと感じました。

委員：非常にユニークな教科書でしたね。

委員：カメラを切り取って観察するみたいなものもありました。

会長：大日本図書について、他にご意見はございませんか。

会長：では、学校図書にいきたいと思います。いかがでしょうか。私が気になったのは、和式トイレの使い方がありましたけど、学校は和式トイレが主流ですよ。

- 委員：私の学校は、もう洋式が主流になりつつあります。和式もあるんですが。
- 委員：和式を描いて、またがり方もかいてあったから、これは1年生にいいなと思ったのです。たしかもう1社あったような気がします。おもしろいなと思いました。
- 委員：遠足に行くときに、わざわざ和式のトイレの使い方を教える場合があります。家はみんな洋式なので、遠足に出かけていくと、公園に和式しかない場合がある。そこで我慢して帰ってきてお漏らししたら大変なので。生活科というのは、そういうところの指導もありますね。
- 委員：光村が、同じように和式トイレの使い方を書いています。
- 委員：和式トイレは、使える方がいいんですか。うちの子は使えなくて、どうしても洋式トイレを探して使ってしまう。今、日本もほとんど洋式化している時代で、それを教科書に載せる意味があるのか。何回も教えたんですけど、無理でした。しゃがめない、洋式で育っているのです。そこをわざわざ教科書で教えるものかなと、私は思っています。
- 会長：他にいかがですか。
- 委員：小さなことなんですけどね。学校探検のところをずっと見ていますと、学校にいろんな人がいるよということで、保健室に行ったときに、この人は「学校看護師さん」というような形で明記されていました。加古川市ではそういう言い方はしない。養護教諭と正式にはいうのですが、「保健の先生」と呼びますね。そのあたりは、指導するときに十分気を付けなければいけないなと思いました。
- 会長：学校図書は、ALTの方の写真も出ていました。最近のものだなと思いました。夏休みの約束や反省のところ、よく配慮されていた気がします。地域のお年寄りとの交流、遊び名人などが取り上げられていました。学校図書は、他にございませんか。
- 会長：では、教育出版、いかがでしょうか。
- 委員：KJ法とか、いろいろな手法が出ていたんですけども、教師にとっては取り組めると思いました。ただちょっと高度かなと。子どもたちには、少し難しいと思いました。
- 委員：とくにウェビングなどは、やり方を教えるまでが大変なのではと思うのですけれども、どうなんですかね。子どもたちがその方法を確立するまで。
- 委員：生活科では、なかなか難しいですね。総合的な学習につなぐためにいろいろな方法を知るという意味ではよいと思いますけれども、1・2年の子どもたちには難し過ぎるかなと思います。
- 委員：ちょっと高度なのかな。
- 委員：総合的な学習では、よくウェビングを使うんですけど、低学年の子どもに

はウェビングは入らないと思いますから、「連想ゲームしようか」というような形でされているのかなと考えたんですけどね。

委員：生活科の中で、ウェビングとは出てないけれども「夏と言えば」とか、いろいろと出させるというのは授業の中ではしていると思うんですけど。

委員：さいころを使って「6つの力」というのが明示されてて、教師側にしっかり持ちなさいよという意図だと思うのですが、その6つを3つの資質に合わせて方向性をしっかり示してあるなど感じました。この教科書、先生が吹き出しにコメントをいっている場面がわりとある。わからないなと思ったのが、はしごが出ているんです。まとめのところで、そのはしごは、どういう意図なのかなと思って見ました。「まんぞくはしご」でしたね。どこまで満足できたかというのを100とありましたから、それを数値で表すのかなと、それも一つのやり方ではあるんですけども、どうかなと思いました。

委員：生活科というのが、教科書が出て、教科書が出るまでの生活科みたいなのもあったりしましたが、やはり体験、いろんな活動があって、それを学習してまとめていくということ言えば、東書のような、体験学習に補助となるようなものがついている教科書の方が使いやすいし、子どもたちが持って、楽しく学習できると思いました。理科や社会への発展へのため、総合的な学習へ向けての、この教科書の特色としてはあると思うんですけども、生活科という授業を考えたら、そういうような教科書がよいかかなと思いました。

委員：理科とか社会へのつながりをすごく意識されて、生活科よりもそちらの方が重点になっている箇所もありました。方位とか、昆虫の体が3つに分かれているというような、そういうところが重要視されてしまうのではないかと、と思いました。

会長：確かに、生活科は知識だけではないですね。教育出版については、よろしいでしょうか。

会長：では、次に光村へいきたいと思います。光村図書についてはどうでしょうか。

委員：この教科書は、東書とかとは対照的だと思ったのは、挿絵があって、子どもたちが見て絵本のように、ずっと入っていくとは思うんですけども、生活科の教科書とすると絵本では難しいなという印象を受けました。

委員：報告にもありましたけれども、挿絵が多くて写真が少なかった。本当に絵本を見ているような、これで学べるのかなというような感じがしました。

会長：光村について、他にいかがですか。

会長：続いて啓林館、いかがですか。啓林館も先ほどと同じように、K J法やY

チャートといった自分の考えをまとめる方法が取り上げられています。しかし、「活動がやや高度である。」と報告にもありましたけれども、そんな感じがしました。啓林館は、さきほどのどこかの教科書と同じように、山折りを3回重ねると、種など成長が見えるんですけれども、啓林館は折る所のしるしがなかった。1年の子どもにできるのかなと思いました。そんなところに工夫が必要だと思いました。

委員：調査結果にもありましたが、流れが固定化して新たな発想が生まれにくい可能性があると思いました。教科書だけで授業をやっしまいそうな、子どもたちの自由な発想が生まれにくくなるかなという懸念があります。

会長：自己肯定感という点からいえば、「自分すてきカード」、「友達すてきカード」を作ろうという活動がありました。それは、好感がもてました。啓林館については、ほかにご意見ございませんか。

会長：では、日本文教出版についてはいかがですか。

委員：1年生の子どもたちが、種から植物を植えて観察するというのが生活科ではあるんですが、どこも種があって、次に双葉が出てという写真がある。その中にアサガオがないというのが、学校では使いにくい。今、学校現場で、1年生が初めて育てる植物がアサガオだから。

委員：日本文教は、山折りを3回したら、たね・葉・つぼみ・花が一度に見られるように、どこで折るかという表示はありました。気持ちを伝えるということにも配慮があったし、多様性に配慮してあるのが一番多かった。細かいことですが、「野菜名人になろう」というところで、「わき芽を摘む」とか「支柱を継ぎ足す」というのが書いてあったのはここだけでした。そこまで言ってしまったらだめなのかなとも思いました。

委員：教えることではなく、それは、子どもが気付くことだと思います。

会長：日本文教についていかがですか。

委員：多様性のところが多かったことが一番評価できる。小さい学年の子が読んでも、車いすは特別じゃない、みんなと一緒にだよと思ってもらえる教科書だった。使いやすさとか総合的に見たら、一番最初に見た東書の教科書がよかったかなと思います。

会長：幼稚園の男性の先生など、今の流れに配慮されているなと思いましたね。生活科に関しては、他にご意見ございませんか。推薦の意思はございませんか。

⑤体育科（保健）教科用図書の選定について

会長：まず、東京書籍についていかがでしょうか。

委員：書くところが多いという印象ですね。ワークシートではないですけど、教

科書に書きこみっていうのは、あまり今までは、なかったと思うのですが、大変書くところが多いなという印象です。

会 長：皆さんいかがですか。

委 員：今、加古川市も力を入れていると思うんですけど、思春期の悩みがあるのは当たり前。悩んだ時に、どうしたらよいのか、こういう悩みは誰しもが持つんだよ、そういうようなことを考えながら見たんですけども。東京書籍は、そういう記述が若干少ないかなと思いました。それから、対処法についても、もう少し書いている方が、子ども達はいろんな人への相談もするだろうけど、本で学ぶのが保健だと思うので、もう少し記述があってもよいと思いました。

委 員：身近な事故や怪我のことが載っていて、それを基にして、自分の考えを深めるといところで、友だちと話し合っていこうといところが、よかったです。

会 長：他にご意見はございませんか。

会 長：続いて、大日本図書について、いかがでしょうか。

委 員：親として、教えて欲しいなと思うところが、1つあるんです。心は年齢と共に発達することで、心と体は密接な関係があるということを親としては、子ども達に教えて欲しいっていうのがあって、大日本図書は少なかったです。

委 員：一番不安定になる、思春期の入り口ですからね。

委 員：デリケートで、恥ずかしいとか、そういう感情もあるかもしれないけれど、やはり教えないといけない部分がありますよね。そこを少なくしている意図が、逆にこの出版社はあるなと思ってしまったくらい少なかったですね。学研さんはすごく多かったので、こちらの方がよいなと思いました。

委 員：たばこの害の学習は、肺の写真がないため、喫煙による健康被害が比較的伝わりにくいというのは、その通りだと思いますね。たばこを吸った肺の写真を見る、視覚的に捉えるというのは、子どもにとって大事なことだと思います。

委 員：喫煙を知らない世代の子に教えるには大事なことです。

会 長：大日本図書については、よろしいですか。

会 長：続いて、文教社についていかがでしょうか。

委 員：文教社が、先ほどの話にもありましたが、性のことについて、一番詳しく感じたように感じました。皆さんはどうでしたか。

委 員：性について気になったことは、発展学習になると思うんですけど、LGBTのことについて触れられている箇所がありましたね。その方達のことを教えるのではなく、いろんな性の多様性があって、悩んだら相談したらよいよ

という内容でしたけどね。

委員：自分はどうかという問いかけが多く、主体的な学習をするという意図は見えますが、話し合ったり、まとめたりする対話的な活動がやや少ないと思います。

委員：教える側の意図でよいのか、力量が問われますね。

会長：続いて、光文書院について、いかがでしょうか。

委員：今、委員さんが言われていました、喫煙とか言われてましたが、この発達段階の時に喫煙とか飲酒とか薬物、最近小学生の薬物乱用の懸念が高まってきているんですけども、そういうのをきちんと写真を掲載してくれてる方がいいですね。

委員：写真が一番効果的ですからね。

委員：光文書院だけが結核について取り上げていますね。

会長：他にご意見ございませんか。

会長：最後に、学研教育みらいについて、いかがでしょうか。

委員：災害の準備とか、発展的な学習が含まれており、使いやすい教科書じゃないかと思います。文章表現がわかりやすいということが大事だと思いますので。この教科書はよかったと思います。

委員：私も自分が教えるとなったら、学研は使いやすいかなという印象を受けました。開いたら、見開きで1時間がつかむ、考える、まとめるという形できちんと整理されている。まとめのところでは、簡単な記述式のコーナーを設けてあるので、子ども達に学んだことを書かせることもできるなど。心の発達の所で、悩みの対応について、3ページも割いているというのは素晴らしいなと思いましたね。子どもだから、いろんな悩み事がある当たり前なので、その窓口も書いてありましたし、スクールカウンセラーの関わりも明記されてましたし、スクールカウンセラーが答えているような場面もありました。すごく、配慮されているなと思いました。

委員：私はすべての教科書を最初開いてみたんですけど、学研は非常に見やすかったです。

委員：学研はパソコンやタブレットと健康被害について、ちゃんと記載されていたように思います。

会長：体育科（保健）に関して、ほかにご意見はないですか。推薦の意思はございませんか。よろしいですか。

⑥音楽科教科用図書の選定について

会長：まず、教育出版についていかがでしょうか。

委員：報告にも鍵盤ハーモニカを教える時に、タンギングを教える時期について

出ていましたけれど、そのために鍵盤にしているということもあり、やはり大切なことなんだと思いました。

委員：私たちが教えていた頃よりもすごいなと思ったのが、九九が出てくるんですね。九九の歌やラップ、サウンド・オブ・ミュージックが出てきたりと今までと違ったのが取り上げられているんですね。多様性にも配慮しており、新妻聖子さんや辻井伸行さんとか、好感がすごく持てて、子ども達が入りやすいなというイメージがありました。

委員：例えば、歌唱共通教材の「ふじ山」では、想像を膨らませるような写真が大きく掲載され、もう1冊の方に比べてインパクトがあったと思いました。

会長：教育出版については、よろしいでしょうか。

会長：最後に、教育芸術社について、いかがでしょうか。

委員：調査結果の概要にもあるんですけど、「しあわせ運べるように」この歌が、本当に大好きで、掲載されているのはうれしかったです。

委員：前学年で統一したキャラクターを登場させて、児童の主體的、対話的な学びを促しているようにという意図は感じました。

委員：浅田真央さんが出てきたのは印象的でした。

委員：表紙にありましたね。

会長：教育芸術社に関して、よろしいでしょうか。

会長：音楽に関して、ほかにご意見はないですか。
推薦の意思は、他にございませんか。

⑦外国語科教科用図書の選定について

会長：まず、東京書籍についていかがでしょうか。

委員：報告にもあったんですが、書く・読むというよりも、英語でコミュニケーションがとれるような、英語が楽しいと思えるような教材が多く、よかったですと思います。

委員：音声から文字へとつなげる指導が、段階的になっているのは、書く方に重点が置かれているような教科書に比べると、コミュニケーションというところでは、指導しやすいかと思います。

委員：大学入試も変わるんですね。今までのような方法ではなく、会話ができるような英語のテストに変わっていくんですね。それを見据えて、小学校からそういうリスニング中心の教科書を使って欲しいなと思います。書く英語は時代遅れなんですね。今からは聞く英語が大切なんじゃないかと思います。そういう意味では、東書さんすごくよかったのかなと思います。

委員：私も東書は好感が持てましたね。ユニットというまとまりでおさえられていて、英語に出会うとか、そういう言い方に出会うところから始められて、

それから慣れる、楽しむ、そして、英語を書くという意識よりも楽しんで学んでいこうという、そういうような意図を感じましたね。

委員：今の子ども、英語大好きですもんね。英語の時間。

委員：四線の真ん中が広いという議論がなされてましたが、実際の所どうですか。調査員さん達は、同じ幅の方がよいという結論を出されたとお聞きしましたが。

委員：それは、何とも言えませんね。

委員：私は、同じ幅で育ったので今を見てびっくりしました。こんなんになっているって。だから外国の方と文通とかして、書いた文字の形が違う言葉になったりしないのかなと、正直思いました。

委員：大きくなれば、同じ幅にするんでしょうけどね。入り口だから、広げるって言うことがあるんでしょうけれど。それを教科書でやってよいのかということでしょうね。

委員：この教科書は、ペアーワークとかグループワークとか対話を中心に取上げていたということですね。

会長：では、次に移ってよろしいですか。

会長：続いて、開隆堂について、いかがでしょうか。

委員：巻末の切り離しカードが、単語だけで絵がないんですね。それは、今、子ども達がやっている外国活動では、絵が主で、実際に発音してもらって、という活動があるんです。外国語科になったらいきなり単語というのは、難しいように思います。でも、そういう教科書が多いですね。教科書となると、やっぱり書くこと中心になるのかなと、ちょっと思っています。

委員：意味がわからずに書いても苦手になるだけですよね。絵やイラスト入りの方がよいですね。

会長：他にご意見ございませんか。

会長：続いて、学校図書についていかがでしょうか。

委員：このプレレッスンのことを報告の時に言われていましたが、確かに復習というところは、新しいことを学ぶ感じではないので、子ども達にとっては、ちょっとおもしろくない学習になってしまいがちですね。

委員：私たちは中学校の時に、初めて習いましたね。筆記体も習いましたけど。そういうことをする分には、新しいことを覚えるので嬉しいかもしれませんが、集中的にやらせるというのは、ちょっと違うかなと思います。

委員：楽しく話したり、楽しく聞いたり、人と対話するっていうのが目的ですからね。

委員：10ページもあるということですから。

委員：指導者の工夫が必要だと思われるんですけど。小学校で英語を教える先生

は英語を専門で学習してきた先生なのか、どういう立ち位置の先生が教えるんですか。それによって、変わりませんか。

委員：ALT がいて、その補助という形ですかね。

委員：いえ、担任が主で、ALTの方が補助です。

委員：ALT はすべての授業に参加する訳ではないですよ。

委員：そうですね。

委員：英語が苦手な先生が教えるってこともあるんですか。

委員：いろいろ研修をしているんですけども、これからというところもあるのが事実ですね。

委員：私が現役の時は、毎朝職員紹介の時に 15 分のモジュールで、ALT の方から英語の発音を習っていました。

委員：担任の先生は、書いてあることはわかっているけど、やっぱり、話す発音が苦手な人が多いんで。そういうところを補おうと、研修を積んでいかないといけないですね。

委員：今、若手の先生方がいっぱい入ってこられてますよね。オールイングリッシュでされてる先生も最近は多いです。私たちの時代は、英語に抵抗がありました。本当に、ALT と対等に話している先生も割といますね。

委員：先生の努力というか、工夫は大いに必要ですね。

会長：学校図書、よろしいでしょうか。

会長：続いて、三省堂について、いかがでしょうか。

委員：指導者の工夫が必要だというコメントがありましたね。

委員：日本語表記が大変多いですね。まず、日本語で理解して、英語に変えるみたいに感じました。それよりも、英語のまま理解できるというか、そういう力が必要だなと思いますね。

委員：英語のフォント、シンプルに載っている教科書の方が、コミュニケーションを主にする授業を組むとしたら、単純にして欲しいなと思うので、英語のフォントが 2 種類あるということは、混乱する可能性があり、難しいかなと思います。

委員：三省堂さんは、学期毎に大きなくくりの中で、最後にプレゼンするという形をとっているんですけど、相当な練習がいるのではないかと思います。こういう力をつけるという目標も、我々は持つておかなければいけないんですけど、なかなかここまで高めていくのは、3 年生からの外国語活動ではしんどいかなと思いました。きちんとやっていってこそ、つながっていくと思うんですけど、ここまで到達できる子がどれほどいるか、逆に外国語が嫌いになる子が増えてしまわないかなという思いがあります。

会長：三省堂については、よろしいでしょうか。

- 会 長：続いて、教育出版について、いかがでしょうか。
- 委 員：詰め込み式の内容だなと感じました。時代と逆行しているような感じがありました。
- 委 員：ペーパーワークやコミュニケーションの量が豊富な方が、子ども達は楽しんで学習できると思うので、この教科書はちょっと難しいなというふうに思います。
- 委 員：QR コードの音声と教科書の表記が違うのは、これは難しいですね。
- 委 員：難易度が高いと感じますね。
- 会 長：他にありませんか。
- 会 長：続いて、光村図書について、いかがでしょうか。
- 委 員：先ほどと同じような、慣れ親しむための英語ではないなと感じました。
- 委 員：難易度が高くなってます。
- 会 長：最後に、啓林館についていかがでしょうか。
- 委 員：アクセント表記が出てくるんですね。
- 委 員：アクセントはすごく難しく、アメリカ英語とイギリス英語の違いもあって、ちょっとアクセントを変えただけで、なまってしまったりとか、本当にアクセントは難しいなと思うんですね。だから、小学校でそれを教えるのはちょっと早いのかなと思います。それと、英語が好きになる教科書が選ばれて欲しいという点から考えると、啓林館は難しいかなと思いました。
- 委 員：英語でやりとりする内容が少ないというのは、やはりコミュニケーションを学ぶというところでは、使いにくいのかなと思います。
- 会 長：他に啓林館についてございませんか。
- 委 員：ローマ字の学習と混同してしまう懸念を感じましたね。もちろん、英語を習った後でローマ字を習ったらすぐに理解できるんですけど、ローマ字を習ったら、英語ができるようになるとはちょっと違うと思います。
- 会 長：外国語科に関して、ほかにご意見はございませんか。
推薦の意思は、ほかにごございませんか。

(2) 加古川採択地区選定委員会報告書の作成について（事務局から説明）

会 長：先ほどの説明に対して、何か、ご意見はございませんか。

会 長：それでは、事務局で、報告書の作成をよろしくお願いいたします。
ご協議ありがとうございました。以上で協議事項終了となります。

5 連絡事項 採択日程、公表について

6 閉会